

ヨーロッパひとり旅。

こんな体験

あなたもいかが？

Part 3

ヒグチ サトシ

# 脱ツアー旅行！ 個人旅行は未知との遭遇

第三弾：どちらがお好き？  
「ビジネス・クラス」と「ファースト・クラス」

ヨーロッパ旅行中に体験した  
個人旅行ならではの話

ヒグピー書房 定価 無料



## どちらがお好き？「ビジネス・クラス」と「ファースト・クラス」

---

大学卒業後、とある会社に入社してまだ数年の独身の頃の話だ。

当時、私はイギリスで開発されていた製品を担当していた関係上、イギリスに出張することになった。海外出張はその時が初めてで、その後、数回に渡ってイギリスに出張することになるのだが、このような体験は後にも先にもこれっきりだった。

その体験は、成田にてロンドン・ヒースロー空港行きのボーイング747に搭乗してすぐに始まった。

当時の会社の規定では、海外出張の際、私のような入社数年の社員でもビジネス・クラスに乗る事ができた。個人的には何回か海外に行った経験があったがビジネス・クラスに乗るのは初めてだった。

2・3・2の座席レイアウトの一番窓側の席に座った私の横に、少し後から私より若干若い、きれいな女性が搭乗して来た。何がきっかけになったかは覚えていないが、ほぼ同年代と言う事で、飛行機が離陸する頃には既に会話が弾んでいた。

話によると、彼女は最近結婚したとのこと。

ご主人は、ジュエリー関係の若干年上だそうで、年に4回程、宝石の買い付けの為にベルギーに行くと言う。今回も、その為の出張なのだが、我がままを言って、一緒につれて来てもらったとの事。

若干年上というご主人は、この若い女性とどうやって知り合ったのだろうか？

やはり、若い奥さんに無理を言われると年上のご主人としては断りきれずに出張に同伴したのだろうか？

ご主人の仕事の関係で、新婚旅行に行けなかったそうだが、これが新婚旅行の代わりということなのだろうか？ いらん想像をしつつ、「で、ご主人はどこにいますか？」と聞くと、

「主人はファースト・クラスにいるんです。私はビジネス・クラスで我慢して、と言われたの」

との返答。出張でファースト・クラスに乗れ、かつ奥さんもビジネスに乗せられるということは、ご主人は事業に成功している実業家なのだろうか？ 私は出張で初めてビジネス・クラスに乗ったと言うのに。

離陸後30分位たっただろうか？お互い話に夢中になっている所へ、ファースト・クラスにいたご主人がやってきた。

彼女曰く若干年上との事なので、いわゆる「おじさん」を想像したのだが、そのような感じでは全く無かった。私のような青二才ではなく、物腰の柔らかそうな、落ち着いた感じの男性であった。彼は新婚の奥さんの様子を見に来たのだろう。一人で座っていて、退屈しているのではないかと思ったのかもしれない。

ところが彼女は、横に座っている同年代の男と会話に夢中だった。

これは予想外だったに違いない。ご主人は、二言三言、彼女と会話を交わすと、すぐにファースト・クラスに戻って行った。

私は、仲良く会話している事が知られ、ちょっと気まずい思いになったが、でも悪い事をしていない訳ではないし、彼女も特に気にしている様ではなかったので、2人の会話はその後も続いた。でもご主人にすると心中穏やかなでは無かったに違いない。彼女は寂しくしているところか、同年代の男と会話に夢中だったのだから。

その後30分程すると、またご主人がやって来て私に言った。

「席を替わって頂けませんか？」

突然のリクエストに私は驚いた。しかし新婚である事を聞いていたので、このお願いに「ノー」という返事はありえなかった。私は彼のファースト・クラスの座席番号を聞き、すぐにその席に移動した。

各クラスの境界はカーテンでしきられており、双方から見えない様になっている。

私はビジネス・クラスとファースト・クラスの境界にかかっているカーテンをあけ、未知の世界である、ファースト・クラスに足を踏み入れた。

スチワードには、予め話しが通っていたのだろうか？

関係ないクラスに出入りしようとするスチワードに制止される事があるが、それもなく、私は教えられた座席に座る事が出来た。

ビジネス・クラスも初めての私なのに、今度はファースト・クラスである。

個人では絶対に乗れないし、会社員としても役員クラスにでもならない限り無理であろう。

ビジネス・クラスの座席は、エコノミーと同じように、「機体の中」に「設置されている」という感じだったが、ファースト・クラスの座席は、「部屋の中」に「配置されている」という印象で雰囲気は全然違う。前の人が席をリクライニングしても、後ろの人には全く影響が無いし、横

の人に触れる事も無い。

ファーストに座っている人は、社会的にそれなりの地位にいる人の様で、まだ青二才の私には場違いではあったが、旅はまだ始まったばかり。私は、このラッキーな体験を楽しむ事にした。ビジネス・クラスの食事を経験する前にファースト・クラスの食事を経験するとは夢にも思わなかった。

今思うに、ご主人は席を替わってもらう時に、その理由を私に何も言わなかった。確かに、「席を替わってくれないか」と、単刀直入に言って来た。

既に彼女から状況を聞いていたので、私にはこれだけで理解できたが、もし彼女がご主人に関して私に何も話していないのなら、これだけでは意味が通じないはずである。ご主人は、彼女が新婚で、主人の出張について来た事、主人がファースト・クラスに乗っている事を、既に私に話していると察知していたのだろうか？

それとも、思わず本音だけを言ってしまったのだろうか？

どちらにしても、あの時の私は、彼からすると危険な男に思えたのは事実だろう。